

## 間欠性跛行について

### こんな症状ありませんか？間欠性跛行

人の背骨のうち腰の部分は5個の骨でできています。骨同士は椎間板と椎間関節で繋がっていて、その中に頭から尻まで脊柱管という神経の入るトンネルがあります。年をとると年齢とともにガタが生じ骨が変形したり、椎間板が膨らんだり、トンネルの壁にある黄色靭帯が厚くなって脊柱管が狭くなります。トンネルが狭くなると中にある神経が圧迫され、神経の血流が悪くなりいろいろな神経障害が生じます、これが「脊柱管狭窄症」です。

どんな症状が出るのでしょうか？代表的な症状が「間欠跛行」です。長い時間立っていたり、歩いていたりとすると、下肢に痺れや痛みが出て歩けなくなり、座って休むと症状が無くなり、また歩けるようになります。間欠跛行を起こす病気に閉塞性動脈硬化症などの血流障害がありますが、脊柱管狭窄症との違いは姿勢による症状の改善がないことです。脊柱管狭窄では前かがみの姿勢をとると症状が改善します。そのため5分しか歩けないのに、自転車ではいくらかでも漕げることが多くあります。またお尻や下肢の痛み、排尿障害や排便障害が生じることがあります。症状が進行すると休んでいても痺れたり、「足の裏に何か張り付いている」、「お尻の穴の周りがムズムズする」などの症状が出る方もいます。診断は症状と画像診断(X線、MRI)で総合的に判断します。

ではどのように治療するのでしょうか？

症状が生じて数ヶ月は保存的治療を行います。腰を屈めたコルセットを付けたり痛み止めや血流改善薬の内服を行います。また前かがみしていると症状が軽くなるのでシルバーカーなどを押して歩くのも有効な対処法です。片側の下肢痛の場合神経根ブロックが有効なことが多くみられます。短距離しか歩けないなど日常生活で辛い場面が増えたり、下肢の筋力低下や膀胱直腸障害が生じる場合は手術の適応となります。またゴルフや山歩きを趣味にしているので歩けないのは辛いとのことで手術を希望される方もいます。手術は「神経の圧迫を取り除く」ことです。脊柱管が狭くなる原因の、「骨の出っ張り、厚くなった黄色靭帯」を切除し、神経の居心地を良くしてあげます。骨がずれていたり、ぐらぐらと不安定性がある場合は固定術といって金属製のネジなどを使って骨同士をくっつけることが必要になることもあります。手術後は下肢筋力の改善具合にもよりますが1~2日目から歩行訓練を始め、2~3週間で退院となります。

MRI検査で脊柱管狭窄=手術ということではありません。症状も強くなったり軽くなったり繰り返しますが、必ずしも予後が悪いわけではありません。

「歩くと足が痺れてくる」という症状のある方、心配であれば一度整形外科にご相談ください。



整形外科医 三浦 亮



# CMS学会

2015年9月6日に開催されたCMS学会でポスター発表を行いましたのでその様子を紹介致します。CMS学会とは、当院が所属している上尾中央内科グループ (AMG) に加えさらに、板橋中内科グループ (IMS) と戸田中央内科グループ (TMG) の3つのグループ病院が合同で開催する学会です。延べ88病院、43介護老人保健施設の職員が参加する学会になります。

通常、学会は専門分野ごとに行うことが多いため、同職種や同診療科の医師の参加が多く、知識は狭く深いものが求められます。

一方、今回のCMS学会では、他職種の職員が参加する学会になります。そのため内容は、毎日の業務の問題点を洗い出し業務改善の方法と結果の報告や、統計的な調査の報告などになります。これらの報告は、実際の現場で行った業務改善であるため、自院に持ち帰って活かせる内容であり刺激を受けました。

私自身も発表の最中に、他病院グループ病院の薬剤師と話をすることがあり、他院の状況やアドバイスなど頂く事が出来実りの多いものとなりました。今後は、指摘して頂いた点の改善に努めていきます。



薬剤科 上原

## トピックス

## 新MRI稼働

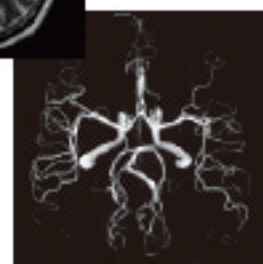
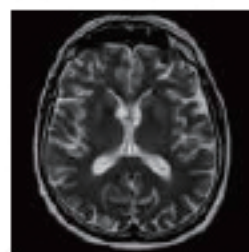
既存のMRI装置を更新し、2015年9月下旬より新装置「MAGNETOM Aera 1.5テスラ」が稼働しました。

既存の1テスラMRI (2007年稼働) を凌駕する“高性能”と“洗練された技術”を搭載した装置で「受診者に優しい検査」を提供致します。

### 特長

- ① 従来のMRIより検査時における騒音が大幅に軽減されます。
- ② 装置開口部の直径が大口径になり、また装置奥行きサイズが短縮され、検査時の圧迫感や閉塞感が軽減されます。
- ③ MRI検査時間が短縮されます。

地地域医療の中核として救急・急性期から慢性期まで幅広い医療を展開する東川口病院では、他院からの紹介MRIや、高度な技術を要する心臓MRIなど様々なニーズに対応。新MRIでさらに充実した医療を展開いたします。MRI検査は医療用金属などの種類によって、検査に支障をきたす場合もありますが、できる限り多くの方々に「安心・安全」のMRIを提供するため努力していきます。



## 第10回公開講座

2015年9月12日（土）、秋晴れのなか、戸塚公民館にて公開講座を行いました。

講演前の健康無料相談会では、看護相談、お薬相談、足計測、骨密度検査を行いました。戸塚公民館の3階の廊下がいっぱいになるほど大勢の方にお越しいただきました。

講演ではまず、当院消化器外科医師の田中より「大腸がんについて」、検査の大切さをいろいろなデータを交えながらお話させていただきました。

次に当院理学療法士の薬師より「腰痛予防について」、理学療法士の視点から実演を交えてお話させていただきました。

「普段の一对一のリハビリとは違い、どうやったら多くの人に伝わるかを考え直す良いきっかけになりました。これからHUT30（東川口うねうね体操）をご当地体操として広まってくればいいな（笑）」と講演後に意気込んでいました。

第10回目となる今回は過去最高となる177名の参加をいただき、会場の椅子が足らなくなるほどの大盛況でした。これからも地域の方々の健康予防の為に様々な情報発信ができればと思います。

次回は11月14日（土）PM 場所は同じ戸塚公民館にて「第2回ふれあい健康フォーラム」を開催します。

内容は

- ①「地域包括支援センターの役割」 戸塚地域包括支援センター 管理者 矢作勇一様
- ②「ピロリ菌感染と胃がん検診」 東川口病院 内科 後藤英晃医師
- ③「脳卒中の治療と予防」 済生会川口総合病院 脳神経外科主任部長 石丸純夫様

上記を予定しています。  
皆様のご参加を心よりお待ちしております。



## 救急症例検討会

2015年9月25日（金）の夕方より当院にて川口市消防局、さいたま市消防局の救急課職員の方々にお越しいただき救急症例検討会を開催致しました。

各症例やメディカルコントロール体制の実情のお話も伺え、とても有意義な時間になりました。また情報交換会では、医師や看護師などが救急救命士の方々と、当院の救急医療の体制などさまざまな話をする事ができ、密な交流が持てたのではないかと思います。

今後も定期的に検討会を行い情報共有する事で、当院が今後救急医療で何が出来るかを考えながら、地域の皆さまに寄り添える病院になれるよう頑張っていきたいと思っております。



# 栄養科の紹介

栄養科には3名の管理栄養士が所属しております。

外来の患者さまとは「栄養指導」を通じて関わっております。食事は大切だと分かっていてもついつい後回しになってしまう方は多くいらっしゃいますが、検査の結果は身体からのSOSです。食生活を見直すきっかけにさせていただきたいという思いで患者様にお話しています。

入院患者様とは、「栄養指導」以外にもう少し食事摂取量を増やすにはどうしたらいいのか考えています。栄養科だけの判断では難しいことが多いため、カンファレンスに参加し情報を集めています。食事をするという事は姿勢や、口腔内の状態、食器の形状などさまざまなことが関連しているため、多職種と連携して少しでもお口からの栄養が取れるようにチーム医療を実践しています。お食事に関することでお困りなことがありましたら栄養科までご相談ください。



## 東川口病院 外来診療について

【受付時間】 午前(9:00~12:30) 午後(14:00~17:15) 平成27年09月10日現在

診療科	受付時間	月	火	水	木	金	土
内科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	△
肥満外来(予約制)	14:00~17:15	△	△	△	△	○	△
循環器科	午前	○	(予約制)○	○	○	△	○
	午後	△	(予約制)○	△	○	14:30から診察○	△
整形外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	△
骨粗鬆症外来(予約制)	15:00~16:30	△	△	△	△	○	△
外科 消化器外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	△	△	△	△	△	△
脳神経外科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	△
皮膚科	午前	△	○	△	○	△	△
	午後	○	△	○	○	○	△
泌尿器科	午前	△	△	△	○	△	△
	午後	△	△	△	△	△	△
小児科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	15:00から診察○	△	○	15:00から診察○	△
	予防接種(予約制)	△	14:00~15:00 予防接種	14:00~17:15 予防接種	△	14:00~15:00 予防接種	△
耳鼻咽喉科	午前	○	○	○	○	○	○
	午後	○	○	○	○	○	△

☆救急対応、緊急手術等でやむを得ず診察時間が変更となる場合がございます。

☆お電話での診察予約、お薬のご依頼はお受けしておりません。

☆各診療科の担当医師については病院ホームページを閲覧していただくか、総合案内までお尋ねください。

☆その他ご不明な点等につきましては総合案内までお問い合わせください。

## 地域活動委員会から一言

紅葉も見頃が近づきました。外出される機会も増えると思いますが、その分体調を崩しやすくなる方もいます。インフルエンザやノロウイルスといった毎年流行する感染症は、時に命に関わる状態になってしまうこともあります。早めの予防が大切です。うがい、手洗い、マスク着用など感染対策を万全にしてくださいね。

地域活動委員会 安田



上尾中央医療グループ  
医療法人社団協友会 東川口病院

内科・外科・消化器外科・整形外科・脳神経外科・小児科・皮膚科  
耳鼻咽喉科・循環器科・泌尿器科・リハビリテーション科・麻酔科

携帯サイト・QRコードから簡単アクセス!  
当院Facebookもあります!是非ご利用ください。

〒333-0801  
埼玉県川口市東川口2-10-8  
TEL:048-295-1000  
FAX:048-295-5501  
http://www.e-kawaguchi-hp.jp



※東川口病院へのアクセス方法※

- ・JR武蔵野線東川口駅下車 徒歩5分
- ・埼玉高速鉄道(南北線直通)東川口駅下車 徒歩5分

